

「市政改革」で

地域はどうなる

「ビジネス感覚」持ち込み

「コミュニティ崩壊の恐れも

「橋下市長の改革で地域はどうなるん

や」「ほんまに地域のプラスになるんやろ

か」などの声が今、区内に渦巻いていま

す。というのは、大阪府が五月十一日に

「市政改革プラン（素案）」を発表し、こ

れに対する市民の意見が五月中旬～下旬に

集められ（二八三九九件あり、うち九四

割の二六七六三件が反対意見だった）、そ

れを踏まえて六月には「案」としてまと

められ、さらに市会での議論を経て今月

末に「市政改革プラン」として決められ

ようとしているからです。

◆メチャ分りにくい！

そこで、この「市政改革プラン（案）」

を読んでみましたが、「色々書いてあるけ

ど、メチャ分りにくい」というのが率

直な感想です。その上で、市や区の担当

者から説明も受け、ようやくそのポイン

トや目指すところが分かってきました。

その内容を「地域活動との関わり」とい

う点に絞って、読者の皆さんと一緒に考

えてみたいと思います。

◆改革プランのポイント

八月一日に港区長に就任する田端尚伸

さん（現区長）によると、この市政改革

プラン（案）の狙いは、「成長は広域行政、

安心は基礎自治行政」という考えを基本

に、「市民協働を更に発展させ、市民に身

近な区で施策や事業を決定する行財政運

営をめざす」（広報みなと）とされていま

すが、その内容は、①大きな公共を担う

活力ある地域社会づくり②自律した自治

体型の区政運営③ムダを徹底的に排除し、

成果を意識した行財政運営」という、「な

るほど」と思わせる三本の柱から成って

います。

このうち特に地域に係があるのは①

ですが、これはさらに、①豊かなコミュ

ニティづくり②地域活動の活性化③多様

な協働の推進④市民による自律的な地域

運営の実現⑤地域資源が循環する仕組み

づくり⑥中間支援組織の活用」という、

「これももつともなことや」と思わせる

六つの項目から成っています。

◆大半は平松時代から

問題はそれらの中身ですが、その大半

は、「地域活動への住民参加を促す」「地域団体が民主的に運営され、透明な会計処理ができるよう助ける」「活動団体どうしのネットワークづくりを支援する」「活動内容を限定せず柔軟な財政的支援を行う」——など、平松市長時代から追求されてきた内容を引き継ぐものです。しかし、⑤の中にこのプランの本当の狙いが見えます。

◆地域のビジネス化？

その⑤では、「地域資源が循環する仕組みづくり」のタイトルのもと、「多様な分野におけるコミュニティ・ビジネス化、ソーシャル・ビジネス化の支援」「本市の事務事業の社会的ビジネス化」などの取り組みが挙げられています。

これは要するに「地域活動をビジネス感覚でやりましょう」と勧めるもので、具体的には「地域活動に必要な財源は自分たちでビジネスをやって確保しなさい」

い」、その一方で、「役所がこれまでやってきた分野は企業などに売り渡し、ビジネスとしてやってもらいます」というものだと受け取れます。



→「市政改革」は地域の為になるのか、市民のチェックが求められています（写真は区内の町会の総会風景）

◆どうなる地域の絆

これは果たして地域にとってよいことなのでしょうか。これまで地域と役所が協働で追求してきた「コミュニティづくり」「防災力強化」「環境美化」といった目的を果たすのにプラスになるのでしょうか。むしろ、地域活動にまで経営感覚や市場原理や競争意識を持ち込むことで、ただでさえ薄くなりつつある人間関係を一層バラバラにし、結局は、うた謳い文句とは逆に、地域にとって一番大切な、住民間の「繋がり」や「絆」きずなを破壊することにつながるのではないのでしょうか。正直、そんな疑問や不安を抱かずにおれません。

◆「採算では測れん」

この「市政改革プラン(案)」については、区内の複数の町会長などからも次のような声を聞きました。

「会議で説明を受けたけど、よう分かん。他の会長さんらもたぶん分かった

はれへんやろ」

「地域活動は、文化・芸術と同じように、採算という物差しでは測れん。そんな分野を、企業感覚・経営感覚を持ってやりなさい、と言われてるように感じた」

「戦後、地域活動の中心を担ってきた地域振興会も特別扱いしません、(歴史も経験も浅い) 企業やNPOと同列で、ビジネスとして競い合いなさい、役所は手を引きますから、ということなんか…」

「これまでの町会活動にも確かに問題はあったけど、それはそれで一つ一つ直していったらええこと。それを逆手^{さかて}に取って、地域を会社みたいな姿に変えていくのはいかなもんや」。

◆自分で読み、判断を

同じ文章でも、受け取り方は人それぞれですから、本紙とはまた違う意見を持たれる方もおられるでしょう。ですから、

関心のある方はぜひとも自分でこのプラン(案)の内容をご覧になり、自分でそのポイントをつかみ、内容の是非を判断されるようお勧めします(港区役所区民情報コーナーや大阪市のホームページで見ることが出来ます)。そして、たとえ市議会でこのプランが決定されようが、「あかんもんはあかん!」と声を上げること必要ではないでしょうか。身近な地域社会が崩壊したあとで「こんなはずやなかった」と後悔しないためにも――。

本紙コラム

あさやけ

「ボ、ボクはいつも、あ、あいさつしています」――最近取材した「防災」がテーマの集会で、明らかに場違いと思われる発言をする青年がいました。が、司会者は「そうですね。災害時にはそんな付き合いが生きてくるんですね」とさり気なくも見事な「返し」。他の参加者も、みんなにこにこ。何事もなかったかのよう^げに議事が進行するのを眺めるうち、胸が熱くなるのを覚えました▼「共生」や「自立支援」や「バリアフリー」がやたら強調される反面、実際の障害者の暮らしは心身共に苦しくなる一方ですが、そんな世の中でも、共通の目的を持てば「人はここまで優しくなれるんや、溶け合えるんや!」と感動させてくれた名場面でした▼折しも今号からはインターネット

のホームページでの情報発信（希望者には実費で冊子提供）となりましたが、願わくば世界が、せめて港区からでも、あの集会のような温かな共生社会になっていくよう、引き続き力を合わせましょう！

石綿禍の不安ある人は継続的に肺癌検診・結核健診を

9月9日(日)9:30~10:30 肺癌検診

港区保健福祉センターで

X線撮影無料・喀痰検査 400円<要予約・40歳以上>

8月6日(月)10:00~11:30 同センターで無料結核健診

詳しくは ☎ 6576-9882 港区保健福祉センターへ

シリーズ・私の提言

叫んでいいとも！

今月の提言者

高橋 健治さん

たかはし けんじ

(NPOみなど)



原発と原爆は同じ！

今こそ大空襲体験の継承を

最悪としか言いようのない、大飯原発の再稼働が強行されました。福島原発事故の原因すら解明されない中で「安全」と判断した政府は原発の「安全神話」を

復活させるつもりなのか、これは暴挙で

ぐきょ

はなく愚挙です。そして消費税増税法案成立を巡るゴタゴタの中、「原子力基本法」

に「我が国の安全保障に資する」という

もじごん

文言を入れる法改正がいつの間にか成立

しました。「核兵器開発」を目論む意図の

もくろ

疑念があります。「安全保障」という言葉

は日本語でも英語でも「国家の防衛」と

いう意味がありますが、今更なぜこのよ

うな文言を新たに挿入する必要があるの

か、今後注視していかなばなりません。

原爆と原発は同じなのです。

◆核戦争の映画から

そうした核の恐怖を改めて思い知らさ

れたのが、最近、DVDで観た『渚にて』

み

なみ

という映画です。一九五九年製作で、主

演は往年の映画ファンにはお馴染みのグ

なじ

レゴリー・ペック、最近のCGを駆使し

た派手な映像ではなくモノクロです。

一九六四年、第三次世界大戦―核戦

争―が勃発し、南半球の一部を除いて放射能汚染で人類が死滅する。そこに係留する潜水艦が、米国の死滅したはずの地域から解読不能の無電を傍受する。果たして生存者がいるのか―。

無電の顛末は省略しますが、登場人物の会話から、自身もやがては放射能汚染で死んでゆくということが分かります。

無人の街の映像の不気味さ。また、どこで己が死を迎えるのか、放射能汚染の苦しみから逃れさせるため家族に薬物を飲ませるのか否か、苦悩する姿がリアルで、観る者に訴える迫力がありました。

◆亡くなりゆく体験者

その一方で、大空襲体験の語り部として活動されている方のお話として、最近、大学生などが広島・長崎の原爆研究の過程で「大阪にも大空襲があった」という当たり前のことで教えを請うてくること
が少なからずある、と聞きました。この

ことを私たちは真剣に受け止めねばなりません。戦後六十七年、戦地体験はもとより、空襲体験をされた方も、その多くがお亡くなりになり、若い人たちに継承することが年々困難になっているからです。

◆偉大な足跡を継承

そんな中で今年三月、私たち自身も大きな柱を失くしました。大和田幸治・NPOみなと代表理事の逝去です。港新聞四月号では労働運動の功績などと共に大きく取り上げてもらいましたが、一言で表わすことは不可能と思われる、その偉大な足跡と志を、私たちは今後の活動の中でこそ継承しようと決意しています。また五月、大阪大空襲研究などの第一人者であり、「第六回大空襲の体験を語る集い」の講師をして頂いた小山仁示・関西大学名誉教授が逝去されたことも、戦争体験を継承する運動にとって大きな損失

失でした。

◆語る集いに参加を！

そうした中、「憲法九条を守る」「反原発」の立場を明確にして行動するノーベル賞作家の大江健三郎氏は次のように主張されています。『私たちはこう聞いた』と歴史を歪めることなく後世に引き継がねばならない」と―。

今年もNPOみなとの主催で、八月十一日（土）午後一時から田中機械ホール（南市岡）で「第十二回大空襲の体験を語る集い」を開催します。参加費無料で、どなたでも自由に発言できますので、奮ってご参加下さい。〈最終頁に広告〉

最後に、やはり原発と原爆は同じです！

× × × × ×

※このスペースは、社会や地域への思いを自由に述べて頂けるよう読者のみなさんに開放しています。

制度充実へ市も前向き

「ねこサポ」記事に区役所から

「公園猫の不妊・去勢手術費の全額公費負担を基金創設などの形で実現してほしい」「市全体で無理なら港区独自でも」との区民の要望に、大阪市と港区役所から回答があったことを本紙前号（3面）で伝えましたが、これに対し、港区役所から次のような指摘がありましたので、紹介します。

◆市の回答は2局から

「避妊去勢手術の費用を全額公費負担とすることは事業の趣旨に合致しない」との回答を行った担当部署として、大阪市ゆとりとみどり振興局のみ掲載していただいておりますが、市長あての要望書への回答はゆとりとみどり振興局と健康

局の両局において作成したものであり、特に上記の回答部分につきましては「所有者不明ねこ適正管理推進事業」を所管する健康局の認識を示したものです。



→「公園猫の不妊去勢手術費の全額公費負担を、基金創設などの形で、港区独

自でも実現してほしい」と求める書簡に大阪市と港区から回答を受けた「公園ねこ適正管理推進サポーター」の尾崎キヌ子さん（左）ら。「制度の充実へ更に働きかけを強めたい」と話しています

◆「施策の充実へ検討」

また区長において「事業の充実に向けて検討していく」ことを約束したと記載していただいておりますが、区役所はこの事業の実施主体ではないため、ゆとりとみどり振興局及び健康局の認識を紹介するにとどめ（その内容については両局に確認のうえ回答文に記載しました）、港区独自の事業の検討に関するご提案に対する見解を回答させていただきました。両局は「避妊去勢手術の費用を全額公費負担とすることは事業の趣旨に合致しない」としながらも、今後、「施策の充実に向け検討してまいります」との回答を行い、前向きな考えを示しています。

催しガイド

■障害者相談所「ほのぼの」好評 毎月

第三火曜十四く十六時、八幡屋商店街のヤハタヤ・プラザで。港区障害者地域自立支援協議会事務局（障害者福祉の連携チーム）のメンバーが障害者や家族・支援者の話を聴き、アドバイスする。①障害者手帳を取得する方法②サービス・制度の紹介や手続き③職場の人間関係への対応④作業所の紹介⑤就職活動のサポート等々。問合せは港区保健福祉センター保健福祉担当（☎六五七五・九八五七、FAX六五七二・九五一四）へ。

■自閉症児を応援する気エネルギーワー

ク プロの気エネルギー療法士が「自閉症児の体や心が少しでも楽になれば」と続けている。「気楽な参加」を呼びかけ。参加費無料。要予約。毎月第二・第四土曜（七月は二十一日、八月は四、二十五日）十五く十八時に松井整骨院内で。弁

天四・一〇・二六、☎六五七二・一一六五。

■ムチ打ち（首・腰）無料相談会 交通

事故でムチ打ちになった被害者が対象。七月二十二日（日）十く十八時に行政書士のむら事務所（築港三・七・一・六〇八）で。一人約一時間。「どうしたら正當な補償が得られるかをアドバイスします」「事故後、早めの相談が良い結果につながります」（同事務所・野村光恵さん）。電話（六五七六・六〇七八）かEメール（info@jiko110-nomura.com）で要事前予約。

■「マンション管理交流会」に参加しま

せんか 市岡ハイタウン（磯路3）で昨年か管理組合理事をしている女性が「管理組合運営や建物修繕などマンション生活の様々な問題や悩みを気軽に出し合い、学び合い、考え合い、励まし合い、交流しましょう」と呼びかけ。一マンシ

ョン二名位で年一く二回を予定。第一回は顔合わせを主な目的に、七月二十九日（日）十四時から港区民センター（弁天2）二階「楓」^{かえで}で。参加費無料。問い合わせは山口伸枝さん（携帯〇九〇・九二七五・九九九一、FAX六五七一・六二五四、メールmoon@respec.t@ezweb.ne.jp）まで。

■港南中同窓会からの呼びかけ

「創立五十周年記念式典・祝賀会が十一月に開催されるが、同窓会全体での記念の集いは難しいので、期ごとに開催するように」と木村良雄会長が呼びかけている。また

一期生（約五百八十人）の集いが十月二十八日（日）正午からホテル大阪ベイタワーで開催される（参加費七千円、申込締切十月十日）。問合せ・申込は☎〇八〇・三七七六・六一二八同会長まで。

■「港区民音楽祭」出演グループ募集 区

内で活動するアマチュアコーラスグルー

プ、ゴスペルグループの発表・交流の場である「港区民音楽祭」**Ⅱ写真は昨年**の模様Ⅱの第五回が十一月二十五日⑩に港区民センターで開催されるが、その出演グループを募集。当日会場で案内や誘導などに携わるボランティアスタッフも同時募集。申込は八月二十四日（金）までに来館かファックスで港区民センター（弁天二・一・五、☎六五七二・〇〇二〇、FAX六五七二・〇二七四）へ。



■みなと麻雀大会 「仲間づくり・健康づくり・生きがいづくりの場、健康麻雀

を広げよう」と毎夏開かれる港区で年間最大の麻雀イベント。港区麻雀業組合主催で三十六回目**Ⅱ写真は昨年の大会風景**。八月六日（月）正午から十七時ごろまで「マージャンひろ」（磯路三・二五・三三）で。定員三十六人。出場費は一人千円。各種賞あり。健康麻雀は認知症予防や生きがいづくりに効果があると注目。厚生労働省から認可を受け、全国健康福祉祭（ねんりんピック）正式種目にも。参加・見学などの問合せは☎六五七四・六六四三「マージャンひろ」へ。



■福崎住吉神社「夏祭り」にだんじり登場 福崎住吉神社Ⅱ写真Ⅱの夏祭りが次の日程で行われる▽七月十七日（火）の「宵宮」では①十八時半から宵宮祭②十九時～十九時半に神楽奉納（子供たちが夏越の祓い・家内安全・交通安全などを願って）③十九時～二十一時にだんじり囃子（北河内や大阪天満宮を中心に活動する約二十人の若手だんじり保存グループ「龍青会」が龍踊りと共に披露）④十

九時半からミニライブ（シンガーソング

ライター「そえんじ」が演奏）▽七月十

八日（水）の「例大祭・夏祭り」では①

十六時半から祭典②十八時半から湯神楽

奉納③十七〜十八時にだんじり巡行（龍

青会が同社周辺を引き回す）④十七時〜

二十一時頃にだんじり囃子（龍青会が

境内で披露）▽問合せは同社（福岡一

一・三九、☎六五七四・二五九二）まで。

読者コーナー

その日待つ

（池島1・勝部泰臣79歳）

戦後何年過ぎようが語り継がなければならぬのは戦争体験である。港新聞は毎号それを掲載して来た。大阪いや全国でも稀有であろう。先号の予告を知ってがっかりした人は多いと思う。体験談にふれる機会が減るのだから。私は古い人間だから「紙」で読みたい。そして心から願い祈っている。いつか再配達の日が来ることを――

小学時代は地元で

唐突な「選択制」

（磯路・女性K・T）

「学校選択制」（6月号1面）についてですが、池島の勝部さんの意見に賛成です。何年も前から話題になっていた事でもなく、何か「唐突」という感じです。

小学時代を地元で過ごすメリットは大きい。それよりも中学の制服をもう少し考

えてあげてほしいです。色、形など最低

限の規制を決めた上で「自由で軽やかな

服」を自分で選べたらいいのに、と以前

から思っていました。「選択制」の議論よ

りずっと盛り上がると思うのですが、ど

うでしょうか。それと、「七月号からホー

ムページで読んで下さい」ということで

すが、私は紙を希望します。

港区の玄関美しく

地道な活動が必要

（市岡・男性62歳）

「『港区の玄関』美しく 住民・企業・行政が一体活動」（6月号4面）を読んで。地域の皆さんが一生懸命に取り組んでおられる姿が伝わり、こういう地道な活動こそ必要だと思いました。その上で、自転車通行ゾーンが設けられている

のに、そこへ駐輪している自転車が多く、通行の妨げさまたになつてゐるのが現状ですが、こんなところにも一人一人が気をつけ、地域の安全と美化に協力したいものだと思ひました。それと、七月号からホームページだけの発信になるのは残念ですが、引き続き読ませて頂きます。

ロケット部品を製作 港の技に感動と誇り

(池島・男性)

「みなとの技を訪ねて」(6月号6面)に興味を持ちました。港区にこんな技術を持った町工場があるとは、感動であり、また誇りです。人工衛星を積んだロケットが発射される時の高熱と高振動に耐える特殊な材料や超精密な加工の話はもちろん、製作当時のいきさつも意外性があり、全体として、とても楽しく読ませて頂きました。

公園ねこの問題

考えさせられた

(池島・女性)

「公園ねこサポーター」の記事(5月号1面)が興味深かったです。行政による野良犬や野良猫の処分は薬殺しか方法がないようですが、可哀かわいそうな動物たちと引き取り希望者とを結び付けるような場所あるいは制度を作ってくれたらいいのにな、などと考えさせられました。

懐かし！野外映画会

(市岡・62歳男性M・T)

「団塊つれづれ草」の夏休み映画会についてのエッセイ(5月号6面)を読んです。私も昔、盆踊りの季節に、野外での映画会は必ずみ観に行っていました。途中でフィルムが切れてやきもきしたり、記事にあるように、蚊に噛かまれて痒かゆみに耐

えたりしながら観たのを懐かしく思い出しました。こういう記事を読むのがとても楽しみです。

仏料理・渋谷さんの

料理への姿勢に感動

(築港・40代男性)

「みなと区人物列伝／日本フレンチの最前線走る―渋谷圭紀さん」(5月号まで7面に連載)を読んで。感心したのはフランスでの修業で個性的な三人の巨匠に学べたという強運、それを活かして超一流へ昇り詰めた渋谷さん自身の努力、そして何より料理への高い姿勢です。「一つしかないもの」を求めて「これから変わり続ける」という最後の言葉には、「さすがに一流は違うなあ」と感動さえ覚えました。ぜひ一度、家族で「ラ・ベカス」へ食べに行きたいと思っています。長年港区に住んでいながら、港区出身の

こんな素晴らしい方がおられるとは知りませんでした。これからもこのコーナーは楽しみにしています。

地場ソースは港区自慢

(田中・50代女性)

「みなとの技を訪ねて」ソースづくり
(5月号まで6面に連載)を読んで。私
のような港区で生まれ育った人間にとつ
て「市岡生まれの弁天育ち」というのが
何より嬉しく、ソース製造の過程も目に
見えるようで、「人の目と手で生み出され
る」という手づくりの苦労もよく分か
りました。あまり特長がないように思える
港区ですが、こういう地場ソースの製造
工場があることは大いに自慢できると思
います。これから、こんな見過ごされ
がちな分野を取り上げて下さるようお願い
します。

労働者のために殉じた 大和田さんの死を悼む

(田中・70代男性)

若い頃、他区の製造現場で組合活動も
していた者として、「労働運動一筋60余
年 大和田幸治さん逝く」(4月号3面)



→読者の作品から辻悦子さん

(市岡元町)の絵手紙

を興味深く読ませて頂きました。戦後の
港区で数々の争議を指導されたこと、歴
史的な田中機械闘争を勝利させたこと、
高齢でも第一線で活躍されたこと、数々
の名言が今も労働者の心に生き続けてい
ること、死の直前まで指導を続けておら
れたこと——などを知り、この人は本当に
労働運動に徹し抜いた、いわば労働者の
ために殉じた人だったのだと感じまし
た。こんな人は、これからもそう現われ
ないと思います。

今、橋下市長らによって、労働組合が
まるで世の悪であるかのように扱われて
いますが、曲がりなりにも労働者のため
の様々な権利(団結権・交渉権・ストラ
イキ権など)が残っているのは、こうし
た人たちの血のにじむような運動があっ
たからこそです。大和田さんの死を心か
ら悼むと共に、その遺志がこれからの労
働運動にしっかりと受け継がれることを願

っています。

× × × × ×

※読者の皆さんの投稿を歓迎します。内容は自由ですが、掲載・不掲載の決定や文章上の調整は本紙で行います。匿名でも構いませんが、内容確認などのため、必ず本紙と連絡がとれるようお願いします。手紙かハガキかファックスかメールで送って下さい。

エッセイ

みなとタイムスリップ



⑭

漫画・ギター！・武道…

どれも未だ成就せず

大阪駅から大和路快速に乗車しようとしたら、車内はすでに私より少し年長とおぼしき高齢の男女であふれていました。ハイキングに出かけるのか、いずれの方も色とりどりの上物のウェアとキャップできめ、楽しげに会話が弾んでいました。日曜日の出勤時の光景です。

先日には孫たちと姫路の「太陽公園」というところに行ったのですが、ここには高価そうなカメラを首からぶらさげた、

これまたとつくに定年が過ぎ、後期青春を謳歌しようとしている大勢の男女写真マニアに出くわしました。いずれも趣味を楽しんでいる風情でした。

今、巷では団塊世代のリタイアした人たち向けに色々な消費活動をおおる企画が目白押しです。海外旅行しかり、撮影会しかり、各種のカルチャー教室の開催等々…。お金と自由時間がたっぷりである方たちがターゲットです。しかし、その逆に、時間はあっても金銭的に余裕のない者（私など）は一体どうしたらいいのでしょうか。



→ 中学時代に熱中したギターも中途半端のまま、六十代も半ばに…トホ

私も幼稚園から小学生時分には少々「絵」が得意でした。「漫画」をせっせと描きました。中学生の時に二年間は「文芸部」でガリ版などを刷っていました。読書も好きでした。一時期はギターに熱中しました。学生時代は武道もたしなみました。しかし^{よわい}齢六十も半ば^{なか}になり、人から「趣味」はなんですか？と問われても、これといったものはありません。何にでも手を出して、どれひとつとして成就したことがない、飽き性の典型です。それなのに、あんなじいさん、ばあさんの成金趣味^{なりきん}みたいなことはしたくないなあと遠吠え^{てい}をしている体たらくです。「可愛い孫たちのために何が誇れるのか？」と思案^{ふけ}に耽^{もつ}ることが、妻に言わしめれば、余計な目下の私の趣味です。(つづく)

スポーツ

4区が和気あいあい

●親善バレー24年●

西区V 港区チーム健闘

「区の垣根を越えてバレーボールを楽しみ、友情を深め、生涯スポーツを発展させよう」と六月十七日、港スポーツセンターで「四区親善バレーボール大会」が行なわれました。港、大正、西、此花の四区のバレーボール連盟の共催で二十



→爽やかに宣誓する石川陽子選手

(大正区の花乃井中OG主将)

四回目(今年は港区連盟が当番)。各区から三チーム、計十二チームが出場し、西区のNOCが優勝、大正区の大正中央PTAが準優勝、西区の西中学校が三位に入りました。

●ユーモア溢れるチーム紹介

開会式では萩野久美子・港区バレーボール連盟会長が「激戦を勝ち抜いた強豪



→優勝したNOC(西区)

チーム同士が爽やかに楽しく交流を、奥野正美・大阪市議員が「こうした地域交流の場であるスポーツセンターが存続できるよう声を上げよう」、田端尚伸・港区長が「近隣四区で親善を深める取り組みはまちの安全・安心にも繋がる」などと選手たちを激励。各チームが「試合後においていいビールが飲めるよう頑張る」



→ 準優勝の大正中央PTA

「綺麗どころを集めたチームです」「二連覇でロンドンへ」などとユーモア一杯に自己紹介して和気あいあいムードが高まる中、花乃井中OG（大正区）の石川陽子主将が爽やかに宣誓し、熱戦が始まりました。

●CHIKKOが4位

出場チームはまず二グループに分かれて予選二試合を戦いましたが、この中で港区の三チームも健闘。このうち市岡中PTAは一勝一敗、市岡小PTAは二敗で、それぞれ予選止まりでしたが、CHIKKOが二勝を挙げてBコート首位決定戦へ進出。しかし西中学校（西区）に○対二で敗れ、三位入賞は成りませんでした。この後の優勝決定戦ではNOC（西区）が大正中央PTA（大正区）を二対一で降し、優勝を飾りました。

なお会場には選手のこむら返り、脱臼、ねんざ、突き指などに備えて「こいずみ

鍼灸整骨院」（弁天）の施術士二人が終日待機、希望者にテーピングやマッサージなどの応急処置を施しました。

パソコントラブルレスキュー



パソコンに関することなら、すべておまかせください。



矢野システム研究所

- ▶ パソコンが起ちあがらない
- ▶ データを消してしまった、消えてしまった
- ▶ ハードディスクが調子悪い、大事なデータを取り出したい
- ▶ ウィルスが進入して困った、どうしよう
- ▶ 外国船のパソコンが調子悪い、助けて！

港区八幡屋1-9-2 ☎6573-4321

スポーツ短信

■子ども会ドッジ大会 平成二十四年度

港区子ども会親善春季ドッジボール大会が六月二十四日に田中小学校校庭で開催。

港区子ども会育成連合会（うりゆづ瓜生由美会長）

主催。二年生の部（男女混合）には各校

下から十二チームが出場。予選突破八チ

ームによる決勝トーナメント戦の末、市

岡キングが優勝、三先が準優勝、八幡屋

と弁天ウインが三位。男子の部（三・四

年生）には二十一チームが出場。予選突

破八チームによる決勝トーナメント戦の

末、田中トリプルが優勝、市岡Z Yが

準優勝、田中ブリザードと築港Aが三位。

女子の部（同）には各校下から十三チー

ムが出場。予選突破八チームによる決勝

トーナメント戦の末、田中エンジェルが

優勝、三先が準優勝、波市ベリーと市岡

が三位。入賞できなかった他のチームも

日ごろの練習の成果を発揮して全力でプ

レ。子どもたちのかけ声や地域の声援が終日場内に響き渡った。

■少年野球MINATO連合（港ヤンキ

ース、福岡ヤンチャーズ、市岡アトミッ

ク、まてい港侍ジャイアンツ、弁天ホワイト

ボーイズ、おかしま北恩加島少年野球部の軟式六

チーム）主催の第十三回大阪市長杯・第

十四回MINATO杯大会（近畿一円か

ら一五六チーム参加。五月二十七日に舞

洲ベースボールスタジアムで開幕）が順

調に進行中。同連合各チームは他連盟の

大会にも参加し、健闘。六五七六・七

一九一駿河通友会長。
するがみちとも

■大阪・港ボーイズ（少年硬式野球）は

選手権大会で三回戦敗退。三年生は残り

少ない試合に向け練習に熱こもる。毎週

土・日に専用グラウンドで、水・木は八

幡屋公園多目的広場で練習。硬式に興味

ある小中学生の体験練習・入部説明随時。

六五七六・六七五三スポーツさんわ又

は六〇九〇・九六一〇・一一七七森。

■港区小学生バレーボール教室「大阪み

なと」八月は四日、十八日（土）に池

島小で、五日、十九日（日）に南市岡小

で、十一日、二十五日（土）は三先小で

九時から練習。見学・体験歓迎。対象は

三〜六年生。六〇七〇・五六五九・四八

三一萬井。
よろい

みなとの技を訪ねて

精密部品加工

花田工作室

花田文男さん

(波除2、73歳)

⑦



→「体が続く限り弟と2人で頑張るわ」

と超精密加工を続ける花田文男さん。

ロケット部品製作の技は健在だ

体で覚えた機械操作

高性能攪拌機など

今に生きるロケット技術

人工衛星打ち上げロケットの部品を昭和六十二年に製作した花田文男さんを工場に訪ねています。前号では超高熱・高振動に耐え抜いた「燃料噴射弁体」の製作工程などを語ってもらいましたが、さて今回は――。

◇

花田さんは昭和十三（一九三八）年、兵庫県尼崎市に生まれ、太平洋戦争さ中の昭和十九年に鹿児島県へ疎開、そこで終戦を迎えました。物作りや機械いじりが好きだったことから、中学卒業後は上阪してバルブ製造工場に就職しました。

◆先輩にどつかれながら

従業員十五〜六人の小さな職場で、「先

輩にどつかれながら」旋盤（工作物を回転させ、往復台の上に固定した刃を前後左右に動かしてこれに当て、切削する工作機械）やフライス盤（円筒形の刃を回転させて、平らな板に溝掘りや穴開けを施す工作機械）の操作を覚えました。工員がまだ「仕上げ師」などと呼ばれて重宝されていた時代で、若い花田さんも辛さを忘れ、「これで身を立てよう」と必死でした。五〜六年して退社する時、同僚が「餞別や」と測定器具をプレゼントしてくれたそうですが、今もその光景を思い返す度に、当時の厳しくも温かかった生産現場の空気が甦り、胸が熱くなるといいます。

その後、搾油機製造会社、電気製品製造会社などへの転職を経て昭和四十三年に三十歳で個人創業。港区弁天に工場を構えました。その後、工場を田中に移し、昭和五十七年には現在の波除に移転。そ

の間の昭和五十三年ごろから弟の和美かずみさんが仕事を手伝うようになりました。

◆超高速回転の攪拌機

現在保有している主な工作機械は旋盤四台、ボール盤二台、アーク溶接機一台。これらを駆使して、攪拌機かくはんやポンプの部品、バルブ製品（弁体や弁棒）などを手掛けています。

中でも化粧水・塗料・薬品・食品などの製造に使われる高性能攪拌機は、原料を毎分一万回転という超高速で攪拌して超微細な粒子びさいにするため、そのシャフトには薬品や物理的に強い最高級ステンレス（ステン316L）などが使われ、それを研磨機けんまなどで超滑らかに仕上げる必要があるといえます。

小ロット・短納期ながら、こうした精密で特殊な仕事の注文はまだまだあるとか。ロケット部品を手掛けた技術が今も生きていることが感じられました。

◆体が続く限り頑張る

一人娘を嫁がせ、今は妻と二人暮らしの花田さん。「同級生はみな年金生活やけど、こっちは年金も少ないし、まだまだ遊んでられん。弟と二人で体の続く限り頑張るわ」と笑います。

「それにしても日本はどうなる。人件費が安いからと生産をどんどん海外へ移して、仕事はないわ、物は売れんわ。国民はもつと声を上げて国のやり方を変えささなあかん」。長年、地域の中小零細業者運動にも携たずさわってきたという花田さん。眼鏡の奥がひととき強く光りました。

（終わり）

花田工作所 営業内容は精密部品加工

一式。所在地は波除二・六・一五、**五八三・五八九二**。

演劇

老芸人の哀歓滲む

石炭倉庫 人情喜劇が好評

石炭倉庫を拠点に人間味溢れる芝居を演じ続ける庶民劇団「ごくらくとんぼ一座」が六月三十日と七月一日、人情喜劇『季節はずれの花』を上演し、好評でした。直木賞作家・難波利三なんばとしぞうさんの『遅れ咲き』から故綾羽一紀あやはかずきさんが脚色・脚本、あんがいおまるさんが演出。

——七軒長屋の長老・京助は八十五歳。

昔、花竹京助・京子の芸名で夫婦漫才をしていたが、華やかな舞台を一度も踏めないまま、妻は十五年前に旅立った。陽が当たらないので毎年遅れて花をつける玄関前のサツキに水をやるのが、今の日課だ。近所の人妻・美代子が、亡き姑しゅうとめに優しくできなかった罪滅ぼしの気持ちも

あつて、京助の身の回りの世話を焼いている。ある時、上方漫才の歴史を辿るテレビ番組に語り部として出演し、その味のある語り口が好評を博したことから、急に身辺が慌ただしくなる。出演依頼が殺到するやら、ファンの踊子が訪ねてくるやら…。折も折、天国から舞い降りた



→最後にひと花咲かせた老芸人の人生を描き、笑わせて泣かせた

『季節はずれの花』の一場面

京子に甘えられ、生前果たせなかった城之崎温泉への夫婦旅行を敢行する。幽霊と喋り合う姿を訝る旅館や長屋の人々。そんな中、京助は番組収録中に心臓病で急死する。平穏を取り戻した長屋。落胆する美代子。その横で夫が励ますように言う。「おじいちゃんの人生、今が一番バラ色なんや。遅咲きの花が咲いたんや」。

人生の最後にひと花咲かせた老芸人の哀歓を、主演のヨッシー原本さんが実に味わい深く演じてみせました。中でも元芸人としての喋りや動きは舞台を越えて面白く、客席を連続爆笑で包みました。また名刺を遠ざけて見たり、足の爪が自分で切れなかったり、といった老人特有の何気ない仕草にも、人間観察と演出のあとが見られました。コミカルな中にも愛情の深さを湛えた京子の幽霊（くめくめこさん）や、京助の世話を生きがいと

も感じる美代子（ゆうこさん）の細やかな所作など、脇役も好演。昭和の長屋の空気を表現した、軽やかで温かな音楽が、終幕まで快適に観劇を運んでくれました。観終わって、「早咲きや大輪の花もええけど、最後にちよこつと咲く人生もええもんやなあ」と感じさせてくれました。

全体として、同劇団結成十七年、公演三十四回の円熟が滲み出た舞台でした。

演劇ガイド

●あんがにおまる一座・お盆特別企画『怪談を食す』

明治から昭和に至る怪談文学の名品を、あんがにおまるさんとヨッシー原本さんの語りで。ミュージシャンや妖怪博士として活躍する亀井澄夫さんの生演奏にも注目。作品は『破約』（小泉八雲）『人面疽』（谷崎潤一郎）『ネコヤナギの下にて』（三橋一夫）『波の音』（城昌幸）『防空壕』（江戸川乱歩）『針』（遠藤

周作)『赤い鼻緒の下駄』(柴田錬三郎)

『沼のほとり』(豊島与志雄)『竈の中の

顔』(田中貢太郎)。八月十一日(土)十三日(月)に日替わり・時間替わりの

プログラムで。各演目の上演時間や鑑賞

料金など詳細は会場の石炭倉庫(波除六

・五・一八、JR弁天町駅から国道四三

号を北進、安治川堤防突当り右すぐ。

六五八一・〇六六四)へ。

芸能ミニ情報

●三先出身の歌手・香西かおりさん

デビュー二十五周年記念シングル第二弾『酒のやど』、『糸車、からり』(TV大阪「逃亡者おりん2」主題歌)、『愛し、恋し』好評▽七月二十日(金)十九時関西TV「怪傑えみちゃんねる」出演予定▽八月二十一日(火)十八時半から大阪新阪急ホテルで「サマーディナーショー」(二万五千元)▽かおり倶楽部は夕風一・一一・一八。



→香西かおりさん

●波除在住の演歌歌手・藤かほりさん

八月四日(日)に八幡屋公園多目的広場

で開催の「港区民まつり」に二十一時

二十一時十分頃出演予定▽八月十六(木)、

十七日(金)にオーク広場で開催の「オ

ーク盆踊り」に出演予定▽「目の不自由

な人に盲導犬を」と九月三十日(日)十

三時から港区民センターで「第十八回盲

導犬チャリティショー」開催予定▽「男

の夢十二代』『人生荒野』好評。共に歌謡

界の大御所・安藤実親作曲。インターネ

ットで購入可。有線リクエストは「男の

夢十二代」で▽六五八二・一二四一藤

企画。



→藤かほりさん

●八幡屋在住の演歌歌手・杉俊一さん しゅんいち

八月四日(日)八幡屋公園多目的広場「港区民まつり」に出演予定▽昭和五十二年『リツ子・流れ花』レコーディング、五十五年『長崎夢模様』でデビュー。『都城の女』『元禄男華』『夢多町の夜』などオリジナル曲多数。作詞・作曲も。高知県生まれ。八幡屋小、港中出身▽☎六五七一・三九三三SUNプロダクション。



→杉俊一さん

●磯路在住の歌手・松浦ゆみさん

七月十五日(日)十五時から三木市「マキ」でキャンペーン予定▽七月二十八日(土)

京都醍醐会館で開催の「第十一回歌の祭典」に十五時頃出演予定▽八月二日(木)

平野区の「カラオケほのか」で開催の記念パーティーに二十時頃出演予定▽『涙のラブ・バラード』『みなと唄』『平戸ブルース』『平戸：哀しみを抱いた街』好評。



→松浦ゆみさん

●港南中学校出身の歌手・川奈ルミさん

七月十五日(日)高槻市立センター(高槻市桃園町二・一)二階で開催の「優歌謡スクール発表会」に十七時ごろゲスト出演予定▽シングル『愛につながれて』『今をとめないで』とアルバム『愛の詩』うた好評▽☎〇三・五三九七・六七六七(株朝

月。



→川奈ルミさん

●弁天在住の歌手・青木美香子さん

毎週水曜二十三時からベイコム11チャンネルで「ミカリンの大坂歌絵巻」放送▽七月初旬に新曲『愛月くマナヅキ』録音▽七月十六日(月)、八月十五日(水)に通天閣歌謡劇場(正午と十四時五十分)出演予定▽七月二十日(金)心斎橋でソロライブ▽七月二十二日(日)「サン浪速うた祭り」出演▽八月二日(木)十九時から大丸心斎橋劇場で「サマーコンサート」(前売二千円、当日二千五百円)▽八

月四日（土）「港区民まつり」出演▽『ス
ローダンス』『シーソーランデヴー』『電
話』好評▽六五七六・六六五三オフィ
スMICKARIN。



→青木美香子さん

演劇

パワフルな笑いで包む

市民劇団が「給食」テーマに

ごく普通の市民による劇団「弁天喜劇
笑天下」の公演が七月一日、弁天町市民
学習センターで行われ、観客約百人をパ
ワフルな笑いで包みました。

上演されたのは、「学校給食の民間委託」
をテーマに、港区の架空の小学校「弁天
港小学校」を舞台にした喜劇『給食のお
ばちゃんより愛をこめて』。大阪市が小学
校給食の運営を民間に移しつつある現状
を踏まえ、「その是非はともかく、子供た
ちにとって何が一番大切なのかを笑いの
中で考えてもらえたら」（「笑天下」講師・
砂川一茂さん）と脚本化されたもの。本
紙記事（二〇〇八年五月号）などが参考
にされました。

◆爽やかな人情喜劇

——児童の集団食中毒事件をきっかけ
に給食の民間委託プランが発表され、こ
れまで作ってくれていた「大阪市おばさ
んチーム」とアメリカ帰りの「民間おば
さんチーム」が受託を巡って競うことに。
互いに長所をアピールしながらも、過去
にメンバー間の助け合いがあったことが
分かり、複雑な心境で迎えた決着の日。
客席に投票用紙を配って集計した結果は
「民間チーム」の勝ち。しかし校長の「大
事なんは子供らに愛情を持つて作ること
や」との判断で合同チームが結成される
ことになり、双方笑顔のジ・エンドとな
った。

ナンセンスギャグあり、ダジャレあり、
ダンスありの賑やかでパワフルな舞台か
ら、「人の繋がりと笑いがあれば、どんな
苦境からでも這い上がる」と感じさせ
る、前向きで爽やかな人情喜劇でした。

◆作る楽しさ伝わった

最前列で笑いまくっていた相阪一晴君^{あいさかいっせい}（東淀川区の小学四年生）は「両チームのメンバーが順番にアピールしている途中でピーツと笛が鳴ってやめさせられる



→「学校給食」をテーマに笑わせながら考えさせた『給食のおぼちゃんより愛をこめて』の一場面

ところが面白かったです」、弟の充陽君^{みつひ}（小学二年生）は「ギャグが一杯あって、どれも笑ってしまいました」、母親のあゆみさんは「みんなで助け合い、工夫しながら作り上げる楽しさが伝わってきました」と話していました。

◆チームワークの大切さ

「民間おばさんチーム」のリーダーを演じた小谷悦子さん^{こたに}（弁天在住の六十代女性）は終演後、「舞台に立つのは初めて。ミスもありましたが、皆でカバーし合いながらやり終えることができ、最高の気分です。台詞を覚えるのがまず大変で、踊りにも苦労しましたが、自分たちでアドリブを考えたりしながら仕上げていく過程はとても楽しく、もっと練習したかったくらい。地域では町会や花づくりの活動をしています、それに通じるコミュニケーションやチームワークの大切さを学ぶことができ、本当にいい体験が出

来ました」と話していました。

◆個性生かして脚本

「笑天下」は「ごく普通のサラリーマンや学生、主婦、高齢者らで喜劇集団を作り、笑いで人を元気にしよう」と同センターが企画した講座「弁天喜劇笑天下」の受講生で作られる劇団。講座は一昨年十月にスタート。大阪出身の放送作家・砂川一茂さん（五二）の指導で喜劇の基本を学び、舞台稽古^{げいこ}を重ね、二〜三カ月で公演を迎えます。今回演じたのはその四期生で、小学生から高齢者まで二十数人。一人ひとりの個性を生かして砂川さんがオリジナル脚本を作成し、受講生らの声も取り入れながら本番へと仕上げていきました。

「笑天下」実践コースは七月二十日（金）スタート。問い合わせは ☎ 六五七七・一四三〇同センターまで。

ライブ情報

●八幡屋出身のロックドラマー **桐田勝治** きりたかつじ

さん ガーゴイルのアルバム『鬼書』きしよ好評▽七月二十一日(土) 十八時半から江坂ミューズ(☎六三八七・〇二〇三)でガーゴイル二十五周年記念ライブ「虹融合」▽八月七日(火) 十八時半からゼツプ難波でザ・クロマニヨンのライブ「トーキング・ロック! フェス・2012」(☎七七三二・八八八八キョードー)。



→桐田勝治さん

●三先のフォーク歌手 **ペドロさん** 切断ブラザーズ(左手親指切断の共通体験を持つ三人で結成)のリーダーやソロでオ

リジナルフォークソング▽毎月第一・三木曜各二十時ザ・セラー(中央区西心斎橋二・一七・一三新スミヤビル地下、☎六二一二・六四三七)▽毎月第三火曜二

十時かつおの遊び場(中央区宗右衛門町四・五宗右衛門町センタービル二階、☎〇九〇・五八八二・七〇一五)▽毎月第二火曜二十時半ロージ(中央区西心斎橋二・九・五日宝三ツ寺会館地下一階、☎六二一二・三三九九)。



→ペドロさん

●三先在住のフォーク歌手・**かずみさん** 七月二十二日(日) 天満寅蔵(北区池田町一七・六カントリーオン一階、☎六三三五

二・一〇九二)で開催のライブに十六時頃出演予定(伴奏はペドロさん)。



→かずみさん

文化短信

●「近江の麻」展が好評 おうみ 人類最古の繊維で、丈夫で吸水・発散性に優れていることから「夏の繊維」とも呼ばれる麻。

そのうち琵琶湖の風土をいかした近江（滋賀県）の麻で作ったタオル、バッグ、コースター、絵本、団扇などを一堂に展示した「近江の麻」展が繁栄商店街のギャラリー&カフェ「風庵」ふうあん（南市岡三・二一〇）で六月一日から開催され、好評



を博している「写真」。会場には他に藤井

オーナー所有の陶器・ガラス器や柱時計・レコード盤・ミシンなど、明治・大正・昭和期に製造されたレトロ感一杯の生活用品も。入場無料。開場は十時半〜十八時、八月三十一日まで。☎四九六五・五九八二。

●「万葉歌みじかものがたり」発刊 「文

法も古語辞典も古典教養もなしで万葉集の世界が味わえる」というユニークなガイド本『万葉歌みじかものがたり』（全十

巻）の第一巻「写真Ⅱ」が、港区の出版社

「JDC出版」から発刊され、反響を呼

んでいる。著者は万葉集の第一人者・大飼孝博士の愛弟子で、半世紀に亘って研究

を続けてきた中村博さん。万葉歌人の「

こころ思い」を「あかんがな うちの気

持ちが 分かるなら 雲よ三輪山を 隠

さんとして」など親しみやすい関西弁混じりで短編物語風にまとめた。大震災の

被害を受けた東北三県の中・高校に全十

巻を寄贈予定。A5判・二三二頁・千三百円＋税。JDC出版は波除六・五・一八、☎六五八一・二八一一。



●弁天町駅前のうたごえ喫茶「ねこじゃ

らし」人気 昭和三十〜四十年代に一世を風靡した「うたごえ喫茶」が弁天町駅

前に復活し、人気が広がっている。店の

名は『うたごえ倶楽部ねこじゃらし』。主

宰の喜多陵介さんは大阪駅前「ともしび」

主宰や高級クラブで演奏の経験を生かし、自ら伴奏と歌唱リードを担当。港新聞な

どで知った老若男女が歌集を見ながら童謡・唱歌、ロシア民謡、日本民謡、フォ

ークソング、青春歌謡などを歌っている
写真。 月一回以上は参加しているとい
 う八十代男性は「六〇年安保闘争の頃か
 ら本町や梅田の歌声喫茶でロシア民謡な
 どを歌った経験があります。ここは歌い
 やすく、伴奏が素晴らしい。下手でもご
 まかし（笑）がきくのが魅力です」。〈表
 紙に広告〉



突撃インタビュー

みなと区

人物列伝

●—16

そろばん復権の“仕掛け人”

——森友建さん（夕風）④



凄い！東洋の計算文化

国際化へ外国人講座が貢献

そろばん復権の“仕掛け人”森友建さん
 を夕風の「森友綜合教室」に訪ねてい
 ます。前号では生い立ちから“二足のわ
 らじ”を経て塾経営一本に絞り、さらに
 その後のそろばん国際化への伏線となっ
 た大学聴講生時代までを語ってもらいま
 したが、さて今回は――。



◆塾経営のかたわら聴講生として学ん
 だ英語は、実は「外国人のための珠算講
 座」オープンを見越してのものだったの
 ですね

→「科学技術の発達と共生できる計算
 文化として、そろばんを国際社会へ
 普及させたい」と語る森友建さん
 夕風の「森友綜合教室」で

その通りです。それで昭和六十一年、
 「外国人のための珠算講座」を大阪珠算
 協会と大阪商工会議所の共催で始めたの
 です。その目的を、対外的には、①外国

人に日本の伝統的な計算文化を知ってもらう②そろばん指導者の国際感覚を高める③国際親善を実現する―としていましたが、実際には先ほど（前号で）言ったような思い（外国人が珠算を評価したら国も珠算教育を見直してくれるやろ）がまずあったのです。

◆それが今では受講生が九二カ国・一〇一八人に上^{のほ}っているとか。国際化への努力に頭が下がります。その中でエピソードなどあれば

講座では週一回、各二時間、一対一で指導しています。その中で、例えばスリランカの三十代女性はインターネットで講座を知り、日本でホームステイしながら四週間集中的に学び、三級を取得したのですが、「母国に珠算教育を導入したい」と考えるまでになりました。大阪教育大に留学していたエジプトの高校教師も三級を取得し、帰国後、「放課後に生徒のグ

ループを作って指導しています」との便りがありました。また、あるドイツ人男性は阪大の研究生時代に講座に通って三級を取得し、帰国して「ドイツ語で教本を作る」と意気込んでいます。

こうした経験を通じて、日本人が「古い」と見ていたそろばんを外国人は「東洋の凄い計算文化だ!」と評価していることが分かり、その普遍的で国際的な価値を彼らから逆に教えられました。

◆そろばんがまさに国際化へ一歩を踏み出したということですね

はい。その一方で、肝心の国内対策としては、平成十二年度から大阪府の小学校へ出張指導を始めました。カリキュラムから珠算指導が減らされ続け、今では六年間にわずか六時間という中で、指導に困難を感じる先生もおられることから、大阪府珠算教育連合会が「サポートしましょう」ということになったのです。そ

の導入校は初年度の五十三校から今では二百十校へと広がっています。

この大阪を突破口に、平成十六年度からは尼崎市でも「そろばん特区」を実施し、これも初年度の一枚から、今では市内の全四十三校へ広がっています。そして、こうした普及活動の中で、そろばんが子供たちの授業への意欲を上向かせ、学力全般に良い影響を与えることが実証されてきたのです。

◆大阪を中心に国内でのそろばん復権が着実に進んでいることが分かります。そこでズバリ、そろばんにそうした効果があるのはなぜか、分かり易く教えて頂けますか？

承知しました。(つづく)

× × × ×

もりとも・けん 昭和十二年港区生まれ。小学四年から珠算を習う。北野高、甲南大卒。同三十三年「森友綜合教室」開塾。

日本珠算連盟理事長などを経て現在(株)大阪珠算協会会長・近畿珠算強化連合会代表。ブログ「世界に広がるそろばん文化」。

森友綜合教室 夕風二・一三・七、TEL・FAX六五七二・六八七七。

銭湯へ行こう!

裸のコミュニケーションで心身健康、地域も元気。銭湯は世界に誇れる日本の伝統文化!



みなと銭湯ファンクラブ(港新聞内)

ミニミニ案内

●交通科学博物館「鉄道模型とのもちもの」

おもちゃ大博覧会

同館五十周年記念の子供向け夏休み企画。七月二十一日〜

九月二日。「鉄道ジオラマ大集合」では、

Gゲージ、Nゲージなどのレイアウトの中で、音の仕掛けなども多用して鉄道模型を走らせる。「くらべてみよう!いろいろな鉄道模型大集合」では、様々な鉄道模型と小型のレイアウトを紹介、アタッシュケースの中にレール幅三ミリのTゲージのレイアウトが広がる。「これもつて

る?いろいろなのもちものおもちゃ大集合」では、鉄道や車、バイクなどの乗り物玩具

具Ⅱ写真Ⅱを紹介、玩具箱をひっくり返したような雰囲気だ。「鉄道おもちゃプレイランド」では、カーペットの上で鉄道おもちゃで遊べる▽「モデルシップ友の会作品展」(二〇〇分の一サイズの南極観測船や消防艇、客船、貨物船など紙類だ

おもちゃばこ



けで制作した緻密な船のペーパークラブト約二十点を一堂に)も八月二十五日まで開催中▽十〜十七時入館、月曜休館(祝日なら開館し翌火曜休、火曜も祝日なら振替休なし、春夏休みは開館)。高校生以上四百円、四歳〜中学生百円。JR弁天町駅すぐ。 ☎六五八一・五七七二。

●関西フィルハーモニー管弦楽団「ミ

ト・ザ・クラシック25」 第一部「錦織

健のファンタステック・ワールド！」

では「黄金のテナー」といわれる錦織健の独唱でスッペ…「ボッカチオ」より

恋はやさし、野辺の花よ」、サルトリ&

クアランツット…タイム・トゥ・セイ・

グッバイ他。第二部「壮大なシンフォニ

ーの世界！」ではチャイコフスキー…交

響曲第五番示短調作品64。指揮は藤岡



幸夫（同フィル首席指揮者） Ⅱ写真右、

独唱は錦織健（テノール） Ⅱ同左。八月

十一日（土）十五時からいずみホール（J

R大阪城公園駅から歩約三分）で。一階

席四千元、二階席三千元、学生席（十八

歳以下、一階席のみ）二千元。無料託児

サービス付き（七月二十八日までに要事

前予約、先着三十名まで）。 〇六五七七

一三八一。

●港図書館

①夏休み期間中のお知らせ

Ⅱ今年も七月二十一日〜八月三十一日は

月曜日も開館（休館は七月十九日（木）と八

月十六日（木）だけ）。本との出会いや調べ物

のチャンス②おたのしみ会Ⅱ幼児を対象

に毎週水曜十五時半〜十六時。絵本の読

み聞かせや紙芝居、パネルシアター、手

遊び、わらべうたの紹介など。申込不要

③あかちゃんのおたのしみ会Ⅱ赤ちゃん

と保護者を対象に毎月第一金曜十一時〜

十一時半。赤ちゃんが絵本に親しめるよ

う工夫。次回は八月三日。申込不要④図

書展示「こどものほんだな」展Ⅱ七月一

日〜八月三十一日まで開催中。平成二十

二年十二月〜平成二十三年十一月に出版

されたこどもの本の中から図書館職員お

すすめを展示（冊子配布も）▽〇六五七

六・二三四六。

●弁天町市民学習センター・弁天シネマ

倶楽部『市民ケーン』 大富豪ケーンが

死の間際に残した「薔薇のつぼみ」とい

う謎の言葉。その意味を探ろうと新聞記

者たちが、生前を知る人々に取材を重ね

るうち、彼の人物像が次第に明らかにな

ってゆく。それは巨万の富を手に入れな

がらも、真に得たいものは得られず、も

がき、苦悩する一人の人間の姿だった。

当時二十四歳の鬼才オーソン・ウェルズ

自らが製作・監督・主演を務めた傑作Ⅱ

写真は一場面。出演は他にジョセフ・コ

ットンら。七月二十一日（土）十時と十

四時。各回当日先着百名。料金は一人一回六百円（前売五百円）。☎六五七七、一四三〇。



●ガットネロ 市岡在住のシャンソン歌

手・松浦由美子さんⅡ写真Ⅱ主宰の音楽喫茶。毎月様々な企画。①松浦由美子のシャンソン百物語Ⅱ第七十六回は七月二十二日（日）十五時から藤田稔のピアノで。一飲物付二千円②クラシックカフェⅡ毎月第一金曜十九時から様々な楽器や歌の組み合わせでクラシックを演奏。第二十三回は八月三日に大町剛（チェロ）十宮崎剛（ピアノ）でショパン、ベート

ーヴェンなど。一飲物付二千円。定員十五人、要予約③HAMORI・BEのうた★カフェⅡ若手テノールデュオ（中川公志・小原有貴）が日本の懐かしい歌を歌う（ピアノ・古谷優子）。一飲物付二千五百円。定員十五人、要予約。第八回は八月二十四日（金）十五時、十九時▽ガットネロは天王寺区上本町六・二・三七、地下鉄谷町九丁目駅⑪出口、☎六七・〇〇二一。



●シネ・ヌーヴォー「生誕百年 木下恵介」

「世界」 溝口、小津、黒澤と並び称される日本映画界の巨匠・木下恵介。庶民の視点で時代を見つめ、文芸もの、青春ものからメロドラマ、ホームドラマ、喜劇

まで、天才的な演出で情感豊かな作品を次々と制作。一方で映画の持つ可能性を追求し、大胆な実験も厭わなかった。その生誕百年を記念してデビュー作『花咲く港』（一九四三年）から遺作の『父』（一九八八年）まで全四十九作品を七月二十一日〜九月七日に上映。『陸軍』（四四）『破戒』（四八）『二十四の瞳』（五四）『遠い雲』（五五）『野菊の如き君なりき』（五五）『夕やけ雲』（五六）『喜びも悲しみ』



も幾歳月』(五七) **(写真)** 『笛吹川』(六

〇) 『香華』(六四) 『なつかしき笛や太鼓』

(六七) 『この子を残して』(八三) 『破れ

太鼓』(四九) 『カルメン故郷に帰る』(五

一) 『カルメン純情す』(五二) 『櫛山節考』

(五八) 『永遠の人』(六一) 『父よ母よ!』

(八〇) 『日本の悲劇』(五三) 『衝動殺人

息子よ』(七九) 他。当日一般千四百円。

上映時間など詳細は同館(地下鉄九条⑥

出口歩三分〇六五八二・一四一六) へ。

●喫茶&ギャラリーハハハハハ 月替

わりで季節感溢れる企画▽七月末まで

「嗚呼、あこがれ! 帆船の魅力展」Ⅱ大

阪市所有の帆船の進水二十周年を記念し

ての企画展。写真(船内、食事、寄港地

など)や機材(帆、船尾灯など)を展示

▽七時半〜十八時(土祝十一時〜)、水日

休。海岸通一・五・二八天満屋ビル(地

下鉄大阪港①出口から海側へ歩五分) 〇

六五七六・〇八八〇。

ひとくちPR

(1行Ⅱ税込1000円)

●代筆します 手紙・案内・報告・宣伝・

司会などの文案。自分史・社史などの聞

き書き。新聞・広報・書籍などの取材・

編集。 〇6571・4636港新聞・飯

田編集事務所。

●放課後・春夏冬休みは学童保育へ 入

所児募集。見学無料・体験OK。家族的雰

囲気。区内に二カ所。 〇6575・03

35ありんこ。

読者プレゼント

※いずれもハガキに今月号の感想とプレ

ゼント名を書いて20日必着で港新聞へ。

●交通科学博物館(ミニミニ案内) 招待

券を。ペア2組に。

●関西フィル「ミート・ザ・クラシック

25」(ミニミニ案内) 招待券を。ペア1

組に。

●弁天シネマ倶楽部『市民ケーン』(ミニ

ミニ案内) 招待券を。ペア2組に。

●シネ・ヌーヴォー「生誕百年 木下恵介

の世界」(ミニミニ案内) 招待券を。ペア2

組に。

●あんがいおまる一座「怪談を食す」(演

劇ガイド) 招待券を。ペア2組に。

●ガットネロ「松浦由美子のシャンソン

百物語76」(ミニミニ案内) 招待券を。ペ

ア1組に。

●藤かほり「盲導犬チャリティショー」

(芸能ミニ情報) 招待券を。ペア5組に。

●青木美香子「サマーコンサート」(芸能

ミニ情報) 招待券を。ペア2組に。

平和のため

戦争体験

語り継ごう

今月の語る人



うが くみこ
宇賀 久美子さん

82歳（弁天在住）

⑦

終戦に安堵と開放感

戦後は食糧難凌ぎ家庭築く

（前号まで 太平洋戦争が深まる中、母や弟妹は疎開し、長女で十代の私は旧夕風で父らと食糧難に耐えながら暮らした。昭和二十年三月の大阪大空襲で我が家は焼夷弾の直撃を受けたが父が消し止めた。続く六月大空襲での機銃掃射の恐怖は今も消えない。八月十五日、三先小校庭のラジオから天皇の肉声が流れた―）

◆「終わった」「負けた」

天皇陛下の声は聞き取りにくく、父も意味がよく分らないようでした。が、前の方にいた人が「終わった!」「負けた!」などと叫んでいたことや、泣いている人がいたことから、戦争が終わったこと、日本は無条件降伏したことが分かりました。その時の気持ちは正直なところ、悔しさよりも「やれやれ」「もう怖い

ろ、悔しさよりも「やれやれ」「もう怖い思いはしなくてよい」という安堵の方が勝っていました。「もうモンペをはかなくてもいい」「スカートがはける」という、いわば女性としての開放感のようなものを感じたのも覚えています。

それでも暫くの間は警防団の人たちが、「モンペを脱いだらあかんぞ」「娘さんは（進駐してくる米兵に）気をつけるように」などと警告して回っていました。

◆米兵を散髪した父

何日かすると、杉村倉庫から五、六人の米兵が出てきました。髪の毛がかなり伸びていて、口々に「バーバー（散髪屋）」「バーバー」と言っているのが聞こえました。まだ警防団の人たちが「米兵にはあまり関わらんように」と声をかけている頃でしたが、理髪業者の父は「むさ苦しいやろ」と気安く米兵に声をかけて店に入れ、そのうちの三人ほどの頭を刈っ

てあげました。今から考えれば、その米兵らは恐らく杉村倉庫かどこかに収容されていた捕虜だったのでしょう。

また、その頃の日本の他の地域と同様、港区でも進駐軍の米兵は陽気にチヨコレートやガムを子供らにばらまいていました。が、父は「あまり欲し気にするな」と戒めていました。それで私たちが他の子供たちのように欲しそうな素ぶりを見せないものだから、困った米兵がお菓子を一方的に置いて帰った、ということもありました。

◆焼け跡でトマトやイモ

私は昭和二十五年に結婚しました。近くの電話局の建物で開かれたダンス教室で知り合った夫・節雄^{せつお}は四歳上で、海軍航空隊の整備兵として京都で終戦を迎えたと言っていました。

結婚後は、義母に教わりながら、焼け跡でトマトやイモを作るなどして戦後の

食糧難を凌ぎ^{しの}ました。とにかく「子供にひもじい思いをさせまい」と必死でした。夫はサラリーマンで、五十八歳で手術を伴う病氣も経験しましたが、定年後に会社を設立し、二人で何とか人並みの家庭を築くことができました。今は子供が三人、孫が九人、曾孫^{ひまご}も二人いて、静かに老後を過ごしております。



→戦後は平和の中で家族に恵まれ、幸せだった（写真は昭和28年頃、夫や子供と共に弁天の原っぱで）

◆平和で温かな国に

八十余年の人生を振り返ってまず**甦**^{よみがえ}ってくるのは、やはり戦争中のことです。当時の日記は読み返すのが辛く^{つら}、全て処分してしまいましたが、それでも、「戦争はこりごり」「これからの人たちをあんな目に遭^あわせたくない」と心の底から思います。

その一方で、平和にはなったものの、日に日に殺伐としていく日本の現状には複雑な思いがあります。子供がほとんど教職に就いたことから、特に青少年の**状態**^{じょうたい}が気になり、「親から躰^しけない」という著名人の言葉には「本当にその通りだ」と共感を覚えます。

そして、厳しくも温かかった子供時分の家庭を思い返す時、日本が平和であると共に温かみのある国であってほしいと、心から願わずにおれません。（終わり）